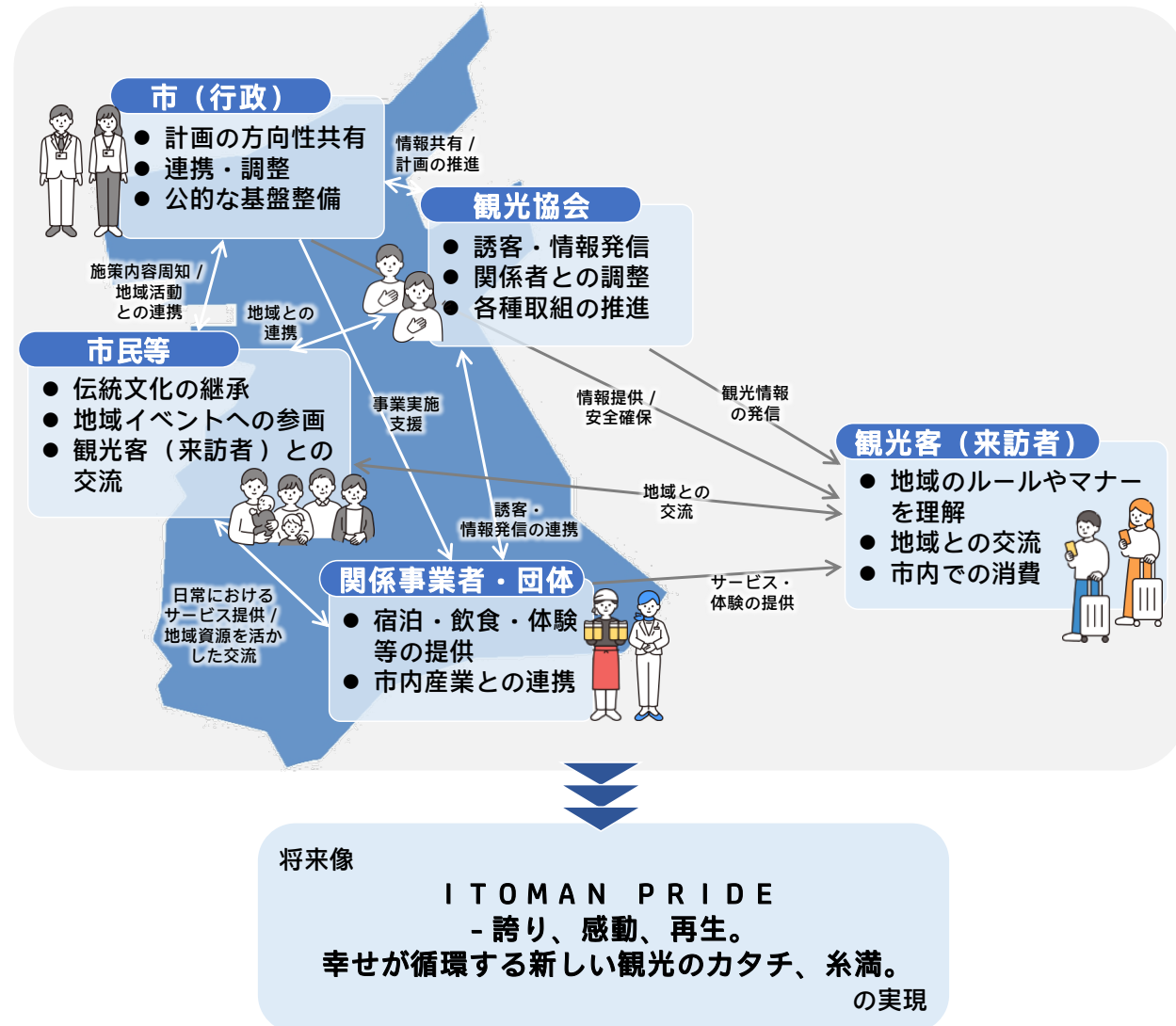


05 推進体制

糸満市の観光振興は、行政のみの取組によって実現するものではなく、地域に関わる多様な主体の参画と協働によって成り立つものであることから、計画の推進にあたっては、各主体の役割や関与のあり方を踏まえた体制づくりが重要となります。



06 進行管理

本計画の確実な実行に向けては、「観光まちづくり協議会」にて合意形成を図りながら進めることにより、PDCAサイクルを構築します。KGIやKPI、そして基本施策ごとに設定した取組指標を用い、2年に1度の定期的な検証を通じて確認します。指標の設定にあたってはSMART法則を意識した活動指標の設定・計測により、管理するものとしします。



「第2次糸満市観光振興基本計画」の本編はコチラ▶▶▶



第2次糸満市観光振興基本計画 概要版

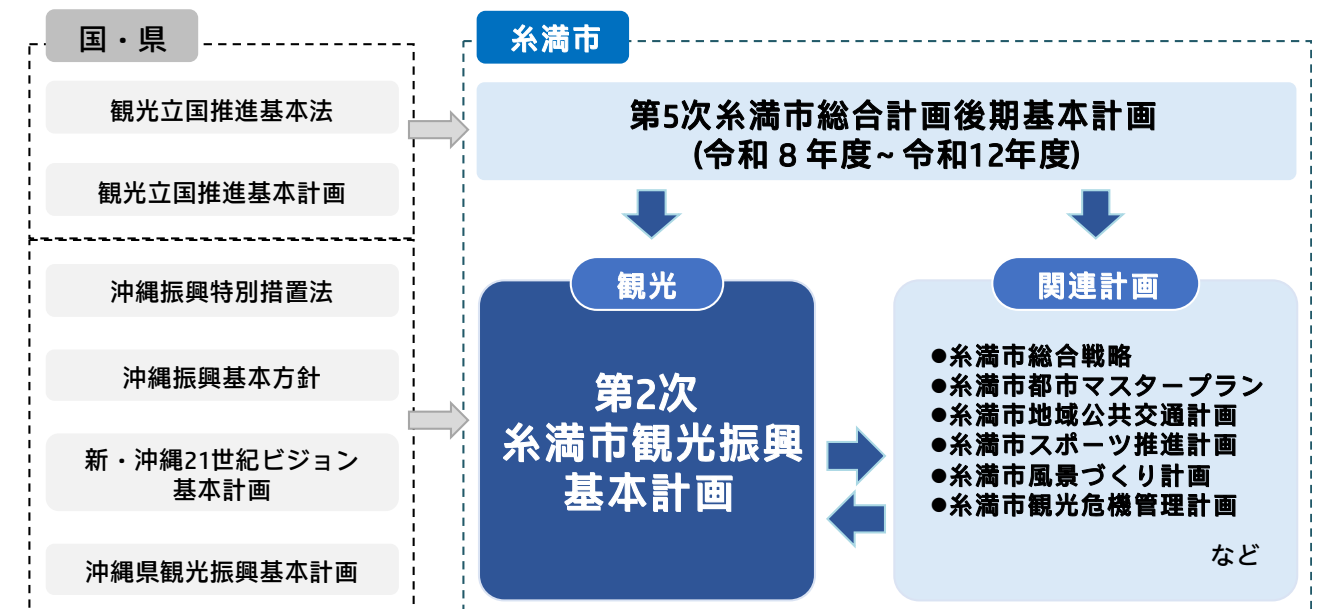
令和8年4月 糸満市

01 はじめに

本市では、2015（平成27）年度に策定した「糸満市観光振興基本計画（以下、前計画という。）」に基づき、滞在型観光への転換を図ってきました。前計画の計画期間が終了することを期に、社会情勢の変化、県の観光政策の方向性、市内の観光基盤の進展、そして平和発信都市としての役割の継承を踏まえ、改めて本市観光の現状と課題を総合的に整理し、地域資源の価値を高めながら、来訪者と地域がともに豊かさを実感できる観光のあり方を明確にする「第2次糸満市観光振興基本計画」を策定します。

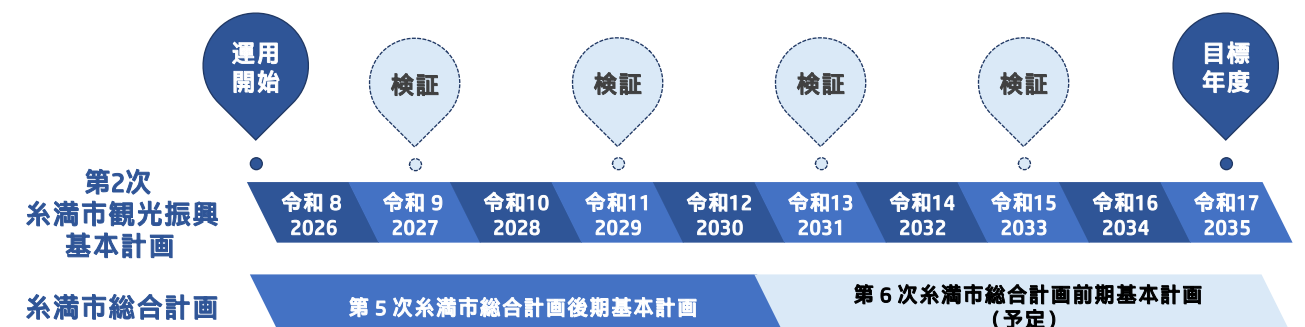
02 本計画の位置づけ

本計画は、2026（令和8）年度に策定した「第5次糸満市総合計画後期基本計画」を上位計画とし、同計画で掲げた施策の取組を推進する観光分野の個別計画として策定します。



03 計画期間

本計画の期間は、2026（令和8）年度を始期とし、2035（令和17）年度までの10年間とします。ただし、近年の観光を取り巻く状況の変化の著しさを鑑み、2年に1度の検証を行います。



な自然や文化は、訪れる人がその価値を体験することで次世代へと継承され、さらに輝きを増していくという特別な力があります。また、市民の暮らしをより豊かにしていく。そんな「幸せの循環（サイクル）」を創出することが、これからの糸満市の観光振興の大きな課題です。観光客の皆さんが「糸満に出会えてよかった」と豊かさを分かち合える、新しい観光のカタチを目指します。

市の平和学習、農水産業の営み、そして豊かな自然や文化は、訪れる人がその価値を体験することで次世代へと継承され、さらに輝きを増していくという特別な力を持っています。観光を通じて地域の価値が「再生」され、それが新しい雇用や活力を生み、市民の暮らしをより豊かにしていく。そんな「幸せの循環（サイクル）」を創出することが、これからの糸満市の観光に求められています。本市が誇る多彩な地域資源を引き継ぎながら、市民・事業者・観光客の皆さんが「糸満に出会えてよかった」と豊かさを分かち合える、新しい観光のカタチを目指します。

多様な地域資源を活かした「地域経営」の推進

心を動かし、絆を深める「多面的な観光誘客」の展開

安全と信頼を築き、進化を支える「観光基盤」の整備

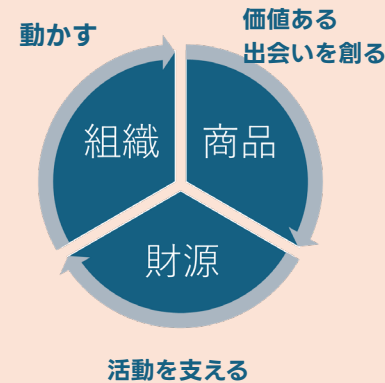
- 1 ★地域資源を活かしたMICEの誘致と受入強化
 - ・ 宿泊・大型施設と連携した質の高い受入環境の整備
 - ・ 糸満ならではの「ビジネスツーリズム」に対応したプログラムの開発
 - ・ MICE推進体制の構築と戦略的誘致
- 2 市内産業と観光が響き合う地域経済の活性化
 - ・ 「糸満の食」を堪能する地産地消の推進
 - ・ 地域資源を活かした特産品・土産品の開発
 - ・ 生産現場を体感する体験プログラムの充実
 - ・ 産業まつり等のイベントによる魅力発信
- 3 「スポーツのまち糸満」のブランド化と誘致推進
 - ・ 地域スポーツコミッションの設立と官民連携の強化
 - ・ 合宿・大会を支えるスポーツ施設の機能改善
 - ・ スポーツツーリズムの推進と新規誘致の展開
 - ・ 平和マラソン等の開催支援と地域経済への波及
- 4 海人文化が息づく魅力あふれる拠点づくり
 - ・ 「海業」による地域活性化と体験プログラムの創出
 - ・ サバニ製作技術と漁撈用具の継承・発信強化
 - ・ 海人文化を軸としたストーリー性のある観光ルートの整備

- 1 **多様な学びに応える平和学習の充実**
 - ・ 多様なニーズに応える「平和学習プログラム」の充実・情報発信
 - ・ 平和の記憶を次世代へつなぐ人材の育成・支援
 - ・ ラーケーション等の新たな学習機会の創出
- 2 **歴史・文化資源の活用と発信**
 - ・ 南山城跡をはじめとするグスク等の歴史遺産や文化財の保全・活用
 - ・ 「くくる糸満」の多言語化対応と観光客誘致の促進
- 3 **伝統行事の継承と地域イベントの創出**
 - ・ 伝統行事の継続支援と観光発信の強化
 - ・ 民間イベントの連携と新たなイベントの構築

1 観光地の景観美化・活用と海辺環境の整備

- ・ 観光地の美化とまちなみ整備
- ・ 地域景観の価値の再認識と利活用の促進
- ・ ビーチの環境保全と管理体制の構築

糸満市が誇る多彩な地域資源を次世代へと引き継ぎ、市民・事業者・観光客の誰もが「糸満に出会えてよかった」と豊かさを分かち合える新しい観光のカタチを目指しています。



- 1 ★観光まちづくり体制の強化と人材育成
 - ・ 既存の観光まちづくり協議会の刷新と連携ハブ機能の構築
 - ・ 観光協会の体制強化と地域スポーツコミッションの確立
- 2 観光DXを通じた観光客満足度の向上と受入環境の最適化
 - ・ データの活用によるリピーター戦略の推進
 - ・ デジタル情報発信基盤の整備と多言語ガイドアプリの導入
 - ・ 観光DXに対応した専門人材の育成
- 3 多様な媒体による一貫した情報発信の推進
 - ・ 多様な媒体を連動させた一貫性のある情報発信
 - ・ 県やOCVBと連携した展示会等への出展
 - ・ くくる系満の活用による魅力発信
- 4 誰もが快適に周遊できるユニバーサルな環境づくり
 - ・ 公共交通へのアクセシビリティ強化
 - ・ 観光バスの一時的待機場所の確保
 - ・ ユニバーサルツーリズムの推進
 - ・ 道の駅いとまににおけるインフラ整備
- 5 南部一体となった広域観光圏の形成と滞在型観光の促進
 - ・ 行政・観光協会が連携した広域実行体制の再構築
 - ・ 高付加価値分野（スポーツ・MICE・平和学習）の広域誘致とルート造成
- 6 観光危機管理体制の構築と観光客の安全確保
 - ・ 観光危機管理計画に基づく基礎啓発と情報伝達の強化
 - ・ プラットフォームの運営および実践的な訓練の実施
 - ・ 観光客の安全確保に向けた避難誘導の最適化
- 7 ★観光地経営を支える宿泊税の円滑な導入と効果的な運用の確立
 - ・ （仮称）観光目的税独自導入検討委員会の設立と実効性ある制度設計
 - ・ PDCAサイクルによる税活用の「見える化」と効果検証

社会文化、
3要素ごと
し、地域経営
像を可視化

指標名		基準値	目標値
一人あたり	飲 食 費	7,594 円	基準
市内観光消費額	観光・娯楽費	3,392 円	年度比
(県外観光客)	土産・買物費	5,578 円	+ 20%
地域への愛着や誇りの 高まりを実感する市民の割合		22.8%	50.0%
知名度やブランド力向上を 実感する事業者の割合		37.9%	60.0%
自然がお気に入りである 市民の割合		58.2%	60.0%
本市の観光客満足度		94.0%	94.0%
本市観光客の NPS		20	20

★基本方針3は基本方針1,2に設定した達成度を通じて間接的に評価し、PDCAサイクルの中で継続的に把握

糸満市の市民・事業者が観光まちづくりの成果を実感し、生活や地域に価値があると感じているか、さらに本市を訪れた観光客が再び訪れたいと感じているかを設定しています。

指標名	基準値	目標値
糸満市の観光に対する総合的な市民満足度	39.7%	60.0%
糸満市の観光に対する総合的な事業者満足度	47.2%	70.0%
観光客の本市への再訪意向	88.8%	90.0%

基本方針ごとの取組成果を把握する指標として設定しています。